平成３０年１１月議会関係要求資料

名古屋港管理組合

目　　　次

1　新舞子マリンパーク風力発電所２号機撤去の取下げに伴う経緯 --1 頁
2　新舞子マリンパーク風力発電所２号機の施設概要、撤去取下げの経緯及び収支比較 ----------------------2

所管委員会
企画総務委員会：1、2
港営建設委員会：1、2

１　新舞子マリンパーク風力発電所２号機撤去の取下げに伴う経緯

（1）当初（平成２９年度）

ア　方針

故障した２号機を撤去

（理由）　・故障したギアボックスの補修費が高額であるため

・今後の収支見通しから、経費負担を最小限にとどめるため

イ　３月定例名古屋港管理組合議会

２号機撤去予算　議決

（2）国の政策変更、地元の要請及び工法等の見直し

ア　国の政策　「再エネ加速化・最大化促進プログラム」　（平成３０年３月 環境省策定）

「第５次エネルギー基本計画」　（平成３０年７月 閣議決定）

（概要）　・再生可能エネルギーの主力電源化を目指す。

・地方公共団体は、取組を加速化最大化する必要がある。

イ　地元の要請

「新舞子マリンパークのシンボルとして２基とも残してほしい」

ウ　工法等の見直し

予防保全の考え方を導入して工法を見直し、収支改善を図った。

（3）方針変更（平成３０年度）

地球温暖化対策に係る情勢を再認識し、２号機の補修・稼働継続を行う。

2　新舞子マリンパーク風力発電所２号機の施設概要、撤去取下げの経緯及び収支比較

（1）施設概要

ア　目的

港湾管理者が自ら率先し、名古屋港から排出される温室効果ガスの削減を図る。

イ　仕様

８５０ｋＷ × ２基

ウ　発電量

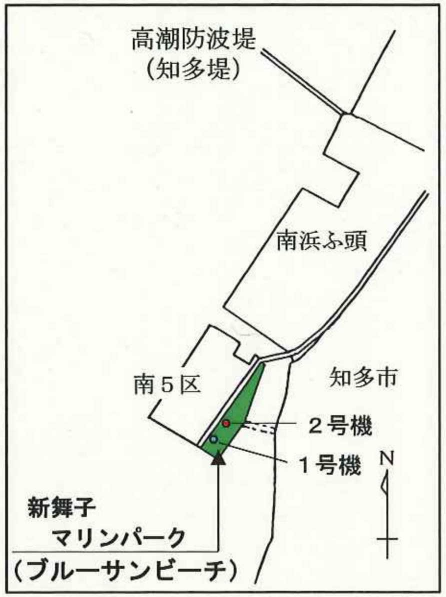
売電　約２３０万ｋＷｈ/年

新舞子マリンパーク供給　約　１６万ｋＷｈ/年

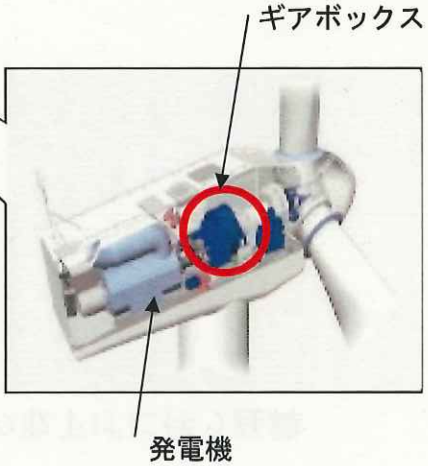
エ　供用開始

平成１７年２月

【 位置図 】



【 概観 】

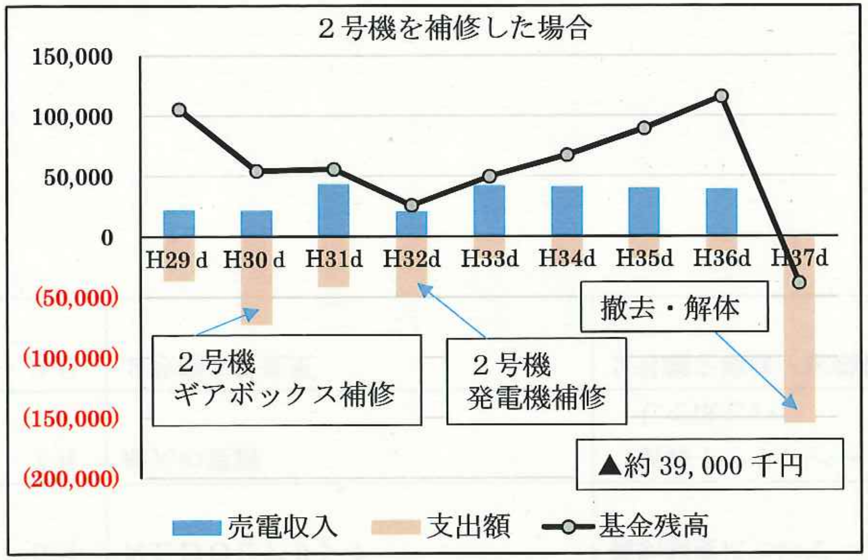


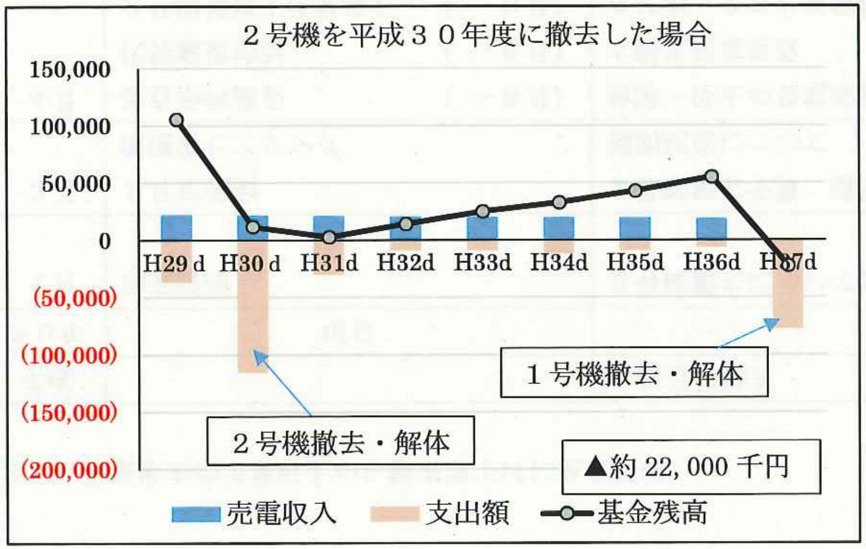
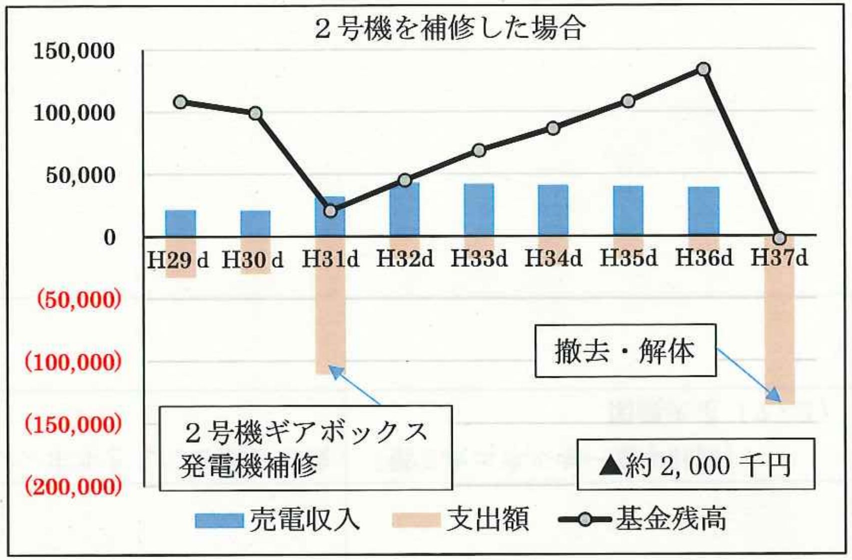
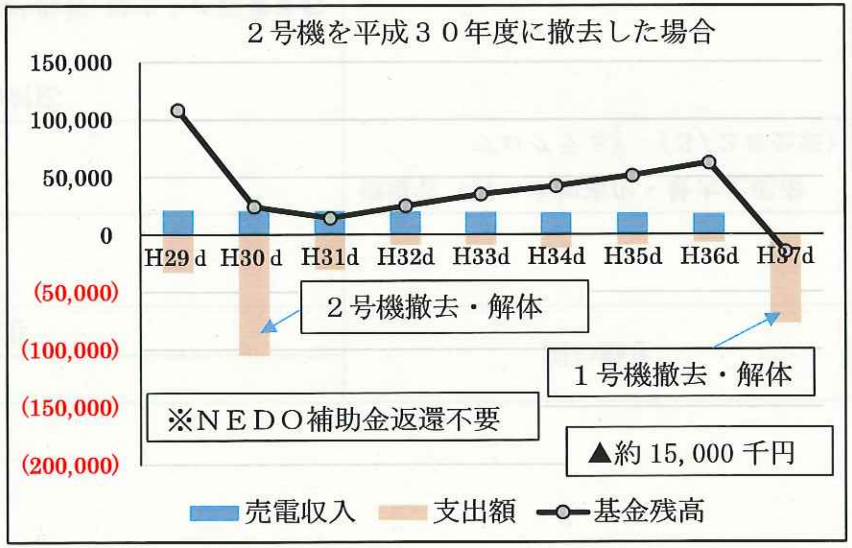
（２）２号機撤去の予算計上から撤去取下げに至る経緯

平成３０年	本組合の動き		国の動き
	項目	内容	
１月	地元説明	２号機撤去について説明	
３月	３月定例会 環境省ヒアリング	２号機撤去予算　議決 補助制度について	環境省「再エネ加速化・最大化促進プログラム」（3/２０公表）
４月	他自治体調査　（～５月） 代替施策検討　（～６月） ２号機補修工法見直し　（～８月）	故障・停止の発電設備への対応 太陽光発電施設 ギアボックスと発電機の同時取替、撤去との経費比較	
５月	ＮＥＤＯヒアリング	補助制度について	
７月	地元の要請	「新舞子マリンパークのシンボルとして２基とも残してほしい」	「第５次エネルギー基本計画」閣議決定（7/3）
９月	２号機方針変更	２号機を補修・稼働継続	

（３）環境振興基金収支の当初試算と再検討の比較

ア　当初試算





イ　再検討